

Ⅱ. 入学者選抜

2. 特別選抜

2－3. 社会人コース特別選抜

2-3. 社会人コース特別選抜

社会人コースは主に社会人を対象としており、講義及び研究指導は、東京サテライトで、平日（月～金）の夜間及び休日（土・日曜日、祝日）に実施します。

博士前期課程は、次のプログラムの中から入学後に希望のプログラムを選択します。

なお、社会人コースに出願される際は、教員一覧（トップページ→東京サテライト→[概要] 教員一覧）を確認し、指導を希望する研究室の教員と事前に連絡を取り、研究室受け入れの内諾を得ることを推奨します。

研究室受け入れの内諾を得ていない場合、入学後の研究室配属において希望する研究室に配属できない場合があります。

技術経営（MOT）プログラム

技術経営（MOT：Management of Technology）は、技術を活用してイノベーションを実現することで企業の競争力とする経営のことを指します。JAISTにおける技術経営プログラムは、こうした経営ができる人材の育成、即ち「技術の分かる経営者、経営の分かる技術者」の育成を図ります。本プログラムでは、従来のMBAやMOTとは異なり、知識科学を基盤としたMOT、すなわち技術やアイデアをシステムとして実現し価値を創造する人間の「知識」を経営リソースとして活用するマネジメント、技術とサービスの統合によるイノベーション・マネジメントに重点を置いています。多くの科目は、グループワーク等、少人数での討論重視のインタラクティブな講義で教育効果を高めています。また修士論文研究を重視し、研究を通じて表層的でない知識の真の理解、問題解決能力および応用力を高め、学位取得に繋がるように設計されています。そのため、受講者の社会での有職経験に基づく討論への参加と貢献が重要であることから、有職経験概ね3年以上を有する社会人の入学を期待します。

サービス経営（MOS）プログラム

少子高齢化が進み地域の活性化が課題になっている我が国において、医療・福祉（看護、介護を含む）、教育、観光サービスの重要性は益々高まっています。また、これらのサービスは独立ではなく、地域の中で互いに絡み合っており、それらを統合的に考えることがイノベーションの可能性を高めます。また、組織の様々な業務をサービス経営の視点で捉えることで諸課題を解決する研究・実践も進んでいます。サービス経営（MOS：Management of Service）プログラムでは、サービス経営全般の知識を習得しながら、知識科学とサービス科学を基礎にした医療・福祉・教育・観光サービスおよびサービス視点での組織のイノベーション研究を、本分野で最前線の研究を行っている教員と一緒に、これを業務や経営で実践することのできる人材の育成を図ります。多くの科目は、グループワーク等、少人数での討論重視のインタラクティブな講義で教育効果を高めています。受講者の社会での有職経験に基づく討論への参加と貢献が重要であることから、有職経験概ね3年以上を有する社会人の入学を期待します。

IoT イノベーションプログラム

IoT（Internet of Things）／クラウド／人工知能／CPS（Cyber-Physical System）などの情報通信分野の新技术の進展と普及により、従来なかったビジネスおよびビジネスエコシステムが登場し、社会に大きな変革（第4次産業革命、スマートインフラ、スマートカー、スマートシティ）をもたらしつつあります。この変革は、産業界にとってイノベーション創出の大きな機会ですが、その実現は容易ではなく、困難を克服し機会を生かすイノベーション・マネジメントが求められています。IoT イノベーション（IoT：IoT

Innovation) プログラムでは、JAIST が得意とする最先端の情報技術と技術・サービス経営の研究・教育の実績に基づき、最近の付加価値や競争力の源泉である IoT/クラウド/人工知能/CPS などの情報技術の習得とともに、いかにしてイノベーションを起こすかにも焦点を当て、IoT イノベーションを先導する人材の育成を行います。本プログラムでは、技術・サービス経営の知識に加え、最先端の情報科学の講義を学びます。また、学んだことを研究論文としてまとめることで、IoT イノベーションの本質を理解し、ゼロから新しい価値を創造できる思考力・応用力が身につきます。

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
		令和 2 年 10 月入学	令和 3 年 4 月入学
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	45 名 (注 1)	45 名 (注 2)

(注 1) 社会人コース特別選抜令和 2 年 4 月募集人員を含みます。

(注 2) 社会人コース特別選抜令和 3 年 10 月募集人員を含みます。

2. 出願資格

入学希望月の前月末日までに[要件 A]の(ア)又は(イ)のいずれかに該当し、かつ、[要件 B]の(1)～(11)のいずれかに該当する者。

[要件 A]

- (ア) 大学等を卒業後、入学時まで 6 か月以上の有職経験があり、現に就業し入学後も就業しながら修学する者
- (イ) 大学等を卒業後、10 年以上の有職経験がある者

上記(ア)、(イ)の有職経験には非常勤を含む。ただし学生の間のアルバイト、TA、RA等含まない。

[要件 B]

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者(学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者)
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣

の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(文部科学省所管外の大学校等を卒業した者等)
- (9) 次に掲げる事項を満たし、本学の定める単位(当該大学の卒業又は外国における大学の教育課程に相当する教育課程の修了に必要な単位数のうちおおむね4分の3以上)を優秀な成績で修得したと認められたもの
 - ① 日本の大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者させる本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの(本学における出願資格(9)に相当する資格により他の大学院へ入学し、その後本学への入学を希望する者等)
- (11) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

※上記出願資格[要件A](ア)又は(イ)に該当し、かつ、[要件B](1)～(8)のいずれかに該当する場合は、入学資格審査を受ける必要はありませんので、「3. 出願期間」に進んでください。

【入学資格審査】

出願資格[要件B]の(9)、(10)、(11)により出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査を行うので、入学資格審査要項及び出願調書を本学ホームページ(入学案内→学生募集要項)からダウンロードし、直接入力・印刷の上、次の期日までに審査書類を提出してください。

試験区分		提出締切日	
社会人コース 特別選抜	令和2年10月入学		令和2年4月28日(火)
	令和3年4月 入学	第1回	令和2年8月7日(金)
		第2回	令和2年10月28日(水)
		第3回	令和2年12月25日(金)
			当日消印有効

入学資格審査の詳細については入学資格審査要項を参照してください。

[入学資格審査 URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-guide/Eligibility.html>

審査結果通知書は、出願締切の1週間前までに本人宛に発送します。審査結果通知書が届かない場合は、教育支援課入試係(Email:nyushi@jaist.ac.jp)まで問い合わせてください。入学資格を認められた場合に限り、出願することができます。

3. 出願期間

出願期間は次の通りです。出願期間内に「4. インターネット出願登録」、「5. 証明書類の郵送」を行って下さい。

試験区分		出願期間（期間内の消印有効）	
社会人コース 特別選抜	令和2年10月入学		令和2年5月27日(水)～6月9日(火)
	令和3年4月入学	第1回	令和2年9月4日(金)～23日(水)
		第2回	令和2年11月25日(水)～12月8日(火)
		第3回	令和3年1月22日(金)～2月5日(金)

※複数回の出願も可能ですが、出願手続はその都度行う必要があります。

4. インターネット出願登録

本選抜はインターネットで出願登録を行います。インターネット出願登録後、「5. 証明書類の郵送」を行うことで、出願手続きが完了します。

インターネット出願登録は本学ホームページ（入学案内→インターネット出願）のインターネット出願登録サイトから行います。

出願登録方法の詳細についてはインターネット出願登録サイトを参照してください。

[インターネット出願登録サイト URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/internet-application/internet-application.html>

(1) 検定料

インターネット出願登録の際、検定料を納付する必要があります。支払い方法等については、インターネット出願登録サイトでご確認ください。

区分	金額	摘要
検定料	30,000 円	・ 検定料とは別に払込手数料が必要です。 ・ 納付された検定料は原則返還しません。

(2) アップロードする書類

インターネット出願登録の際、所定の様式をアップロードする必要があります。

所定の様式は、本学ホームページ（入学案内→所定の様式）からダウンロードし、直接入力してください。

[所定の様式ダウンロード URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-form/form-m.html>

① 出願者全員がアップロードする書類

所定の様式	備考
職歴調書	書類は 11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。

小論文	<p>課題：「本学入学後に取り組みたい研究課題について」</p> <p>研究の背景、目的、内容、方法等を自分の考えに基づいて記述すること。なお、研究の準備状況やこれまでの研究（たとえば卒業研究）との関連あるいは専門を変える理由等を追加してもよい。</p> <p>書類は日本語 1,000 字程度又は英語 600 ワード程度で横書き。また、11 ポイント以上のフォントを用い <u>A4 判片面 1 枚に収めること</u>（補足資料の添付は不可）。</p>
エントリーシート	<p>以下について記入すること。</p> <p>① 「技術経営」「サービス経営」「IoT イノベーション」のうち最も関心のあるプログラム</p> <p>② 関心の高い研究室（研究室の教員名を少なくとも 1 名は記入すること。関心の高い研究室が複数ある場合、関心の高い順に 3 名まで記入できる。教員名はフルネームで記入すること。）</p> <p>③ 希望する学位（知識科学、情報科学から 1 つ。3 頁を参照のうえ選択すること。）</p> <p>④ これまでに履修した授業のうち、得意な専門科目（3 科目）</p> <p>⑤ 本学を志望する理由</p> <p>⑥ 本学博士前期課程修了後のキャリア目標</p> <p>書類は 11 ポイント以上のフォントを用い <u>A4 判片面 1 枚に収めること</u>（補足資料の添付は不可）。</p>

- ② 該当者のみアップロードする書類
 <出願資格(3) (4) (5) (6) 該当者>

所定の様式	備 考
学校教育等履歴書	大学に限らず、外国において学校教育を受けた出願者は提出が必要。

5. 証明書類の郵送

インターネット出願登録後、次の証明書類を郵送してください。証明書類は一括して、角 2 封筒（志願者の氏名・住所を明記し、「博士前期課程社会人コース特別選抜・証明書類在中」と朱書きすること）に入れ、速達書留郵便で提出してください。なお、教育支援課入試係窓口を持参し、提出することも可能です。

- (1) 出願者全員が提出する書類

証明書類	備 考
成績証明書 ※写し（コピー）不可	<p>出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。</p> <p><u>大学に編入学した場合、又は短期大学・高等専門学校の専攻科に進学した場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科）の成績証明書も併せて提出すること。</u></p>

卒業（見込）証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成した卒業（見込）日入りのものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。
-------------------------	--

(2) 該当者のみ提出する書類

<出願資格 [要件 B] (2) 又は (6) 該当者 >

証明書類	備 考
学士の学位授与証明書 ※写し（コピー）不可	大学改革支援・学位授与機構、在籍する学校長等が日本語又は英語で作成したもの。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。

<婚姻等により証明書と氏名が異なる者 >

証明書類	備 考
戸籍抄本等	旧氏名、新氏名が確認できるもの。

【郵送・提出先】 〒923-1292 石川県能美市旭台 1-1

北陸先端科学技術大学院大学 教育支援課入試係

窓口受付時間：9時～17時（土日・祝日等を除く）

6. 受験票の発送

「4. インターネット出願登録」、「5. 証明書類の郵送」の手続きが完了し、出願を受理した時は、本学から受験票及び受験上の注意等をそれぞれの出願締切後に発送します。受験票等が試験期日の1週間前までに届かない場合は、教育支援課入試係 (Email: nyushi@jaist.ac.jp) まで問い合わせてください。

7. 試験期日及び選抜方法

(1) 試験期日及び場所

試験区分に対応して、次に定める期日のうち、本学が指定した1日に**東京**で試験を行います。

試験場、受付時間及び試験時間は、発送する受験票で通知します。

試験区分		試験期日	
社会人コース 特別選抜	令和2年10月入学	令和2年7月4日(土)・5日(日)	
	令和3年4月 入学	第1回	令和2年10月17日(土)・18日(日)
		第2回	令和3年1月9日(土)・10日(日)
		第3回	令和3年2月27日(土)・28日(日)

(注) 試験日は志願者数や面接委員の専門等にも関係するので、時間帯を含めて志願者の希望や変更は受け付けません。

(2) 選抜方法

試験は、面接により次のとおり受験者1名に対して30分間で実施します。

① 出願時に提出した小論文の内容の口頭発表

- ・口頭発表時間は7分間
- ・口頭発表のため、プロジェクター（普通紙をガラス面に載せるだけでスクリーンへ映し出せる書画カメラ機能付のもの）を試験室に準備するので、当日に A4サイズの紙の資料1部（枚数は自由（ただしホッチキス止めはしないこと）、横（辺の長いほうが上下にくる）向き資料推奨） を持参してください。
- ・発表時、手持ちの紙原稿の使用は認めるが、その他の資料・機器等の持ち込みや配付は認めません。

② 出願時に提出した小論文・エントリーシートの内容に関する口頭試問

- ・口頭試問時間は23分間

(3) 評価基準及び合否判定基準

面接試験では、入学後に学修・研究を行う上で必要な基礎的な学力・能力や意欲等について総合評価します。

面接試験の結果及び出願書類を総合判定して合格者を決定します。

8. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者発表日及び入学手続

次のそれぞれの合格者発表日に、受験者全員に合否結果通知書を発送します。

ホームページへの掲載は行いません。また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時又は発表後に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分		合格者発表日	入学手続期限	
社会人コース 特別選抜	令和2年10月入学	令和2年7月10日(金)	令和2年8月下旬予定	
	令和3年4月 入学	第1回	令和2年10月30日(金)	令和3年2月下旬予定
		第2回	令和3年1月22日(金)	
		第3回	令和3年3月5日(金)	令和3年3月中旬予定

(2) 入学時納付金

区分	金額	摘要
①入学料	282,000円	・入学手続書類に同封する振込依頼書により納付してください。 ・納付された入学料は返還しません。
②授業料	前・後期各 267,900円	・全国の銀行・信用金庫・信用組合及びゆうちょ銀行の「預金口座からの振替（引落し）」による納付方法を導入しています（農協及び漁協は利用不可）。

	年額	535,800 円	<ul style="list-style-type: none"> ・授業料の振替日は、前期分が毎年 4 月 20 日、後期分が毎年 10 月 20 日（ただし、入学後最初の納付のみ 4 月入学者は 5 月 20 日、10 月入学者は 11 月 20 日）です。 ・年額での納付も可能です。
③保険料 (2 年分：学生教育研究災害 傷害保険・学生教育研究賠 償責任保険)		2,430 円	<ul style="list-style-type: none"> ・左記 2 つの保険をセットで全員に加入を義務づけています。

(注) 1. 納付金についての詳細は入学手続き時に通知します。

2. 入学時及び在学中に納付金①②の改定が行われた場合には、改定時から新入学科及び新授業料を適用します。

9. その他の重要事項

「Ⅲ. 重要事項」を必ず確認してください。